

News Release

FOR RELEASE – Oct. 28, 2025

コーニング、2025年第3四半期業績⁽¹⁾を発表 コア売上高およびコア一株利益は過去最高

第3四半期、コア売上高は前年同期比14%増、コア一株利益は同24%増、
コア営業利益率は同130ベースポイント（1.3%）増

オプティカルコミュニケーション部門のエンタープライズ事業、生成AI向け新製品の採用が引き続き
堅調に推移し、第3四半期売上高は前年同期比58%増

コーニングは『スプリングボード』計画に向けて引き続き堅調を見込んでおり、
1年前倒しで第4四半期中に同計画の営業利益率目標20%に達すると予想

経営陣は、第4四半期コア売上高を約43.5億USドル、コア一株利益については再び売上高を上回る
ペースの成長で0.68～0.72ドルに達すると予想

当社ケンタッキー州の工場グローバルのiPhoneおよびApple Watch向けカバーガラスを全て製造するため
に、Appleが25億ドル規模の投資を約束—2026年以降『スプリングボード』計画に新たな成長機会が加わる

(1) 第3四半期GAAP業績：売上高41億USドル、一株利益0.50USドル、営業利益率14.4%、GAAP営業
キャッシュフロー7億8,400万USドル。第3四半期コア業績：売上高42.7億USドル、一株利益0.67USドル、営業
利益率19.6%、調整後フリーキャッシュフローは5億3,500万USドル。

コーニングインコーポレイティッド(NYSE: GLW)は本日、2025年第3四半期の業績および第4四半期の見通しを
発表しました。

ウェンデルP.ウィークス、会長兼CEOは次のように述べています。「第3四半期も再び素晴らしい業績を収める
ことができました。コア売上高は前年同期比14%増の42億7,000万USドル、コア一株利益は同24%増の
0.67USドルとなりました。『スプリングボード』計画の始動から2年を迎えようとしていますが、全体としてこの計画は
大成功を収めてきました。すでに通年売上予測に40億USドルを上乗せしており、収益性も大幅な改善が見られ
ています。第4四半期の営業利益率予測は20%と、同計画の目標を1年前倒しで達成する見込みです。」

ウィークスは続けて、次のように述べています。「好調を収めた第3四半期の先には、強力な長期トレンドを追い
風として、さらなる大幅成長が見込まれます。いくつか具体例を挙げると、当社の生成AI向け新製品および米国
製太陽光製品に対する大幅な需要増に 대응べく、現在、生産増強を進めています。また、アップルが最近、当
社ケンタッキー州の工場iPhoneおよびApple Watch向けカバーガラスを100%生産するために25億ドルの投資を
約束したことで、より大規模かつ長期的な商機が生まれています。

エグゼクティブバイスプレジデント兼CFOのエド・シュレジンジャーは次のように述べています。「複数の事業部

門で売上増と利益率の拡大を達成したことにより、第3四半期は素晴らしい業績となりました。コア売上高は前年同期比14%増、コア営業利益率は130ベースポイント（1.3%）増の19.6%、コア一株利益は24%増、コア投資資本利益率（ROIC）は160ベースポイント（1.6%）増の13.4%でした。また、調整後フリーキャッシュフローも5億3,500万USドルと好調でした。

全体として、当社は『スプリングボード』計画を実行していく中で、収益の大幅改善を続けています。」

シュレジンジャーは続けて、次のように述べています。「第4四半期についても、堅調が続く生成AI向け製品需要や太陽電池用ウェハーの売上を追い風に、引き続き堅調に推移すると予想しています。第4四半期コア売上高は約43.5億USドル、コア一株利益については再び売上高を上回るペースの成長で0.68～0.72ドルに達すると予想しています。また、『スプリングボード』計画における営業利益率20%という目標に向けて順調に進んでおり、今期第4四半期中に一年前倒しで同目標を達成する見込みです。これは、2023年第4四半期の計画始動時点から370ベースポイント（3.7%）の改善であり、引き続き売上を伸ばしていく中で、強力な収益構造の構築につながっています。」

2025年第3四半期ハイライト：

- GAAP売上高は41億USドル。コア売上高は42億7,000万USドル。
- GAAP一株利益は0.50USドル。コア一株利益は0.67USドル。GAAP一株利益とコア一株利益の差には、為替換算調整契約および外貨建て債務に関連するノンキャッシュ時価評価調整、為替変動の影響調整が含まれる。
- GAAP粗利益率は14.4%。コア粗利益率は19.6%。
- GAAP営業キャッシュフローは7億8,400万USドル、調整後フリーキャッシュフローは5億3,500万USドル

2025年第4四半期見通し：

- コーニングは第4四半期も成長が継続するものと予想しており、コア売上高を約43.5億USドル、コア一株利益については売上高を上回るペースの成長で0.68～0.72ドルと見込んでいます。

2025年第3四半期業績および比較（単位百万USドル。ただし一株利益の金額を除く。）

業績（GAAP）

	Q3 2025	Q2 2025	Q3 2024	前四半期比	前年同期比
純売上高	\$4,100	\$3,862	\$3,391	6%	21%
純利益（損失） ⁽¹⁾	\$430	\$469	(\$117)	(8%)	*
希薄化後 一株利益	\$0.50	\$0.54	(\$0.14)	(7%)	*

(1)コーニングインコーポレイティッドに帰属するGAAP純利益（損失）

*非適用

コア業績（Non-GAAP）⁽¹⁾

	Q3 2025	Q2 2025	Q3 2024	前四半期比	前年同期比
コア売上高	\$4,272	\$4,045	\$3,733	6%	14%
コア純利益	\$585	\$523	\$465	12%	26%
コア一株利益	\$0.67	\$0.60	\$0.54	12%	24%

(1) コア業績指標はNon-GAAP財務指標。GAAPによる数値とNon-GAAPによる数値の調整については、このニュースリリースに続く表や当社ウェブサイトをご覧ください。

2025年第3四半期の部門別業績（百万USドル）

以下の第3四半期の業績は、コーニングの連結財務諸表に記載されている部門別報告に基づいて作成されています。

2025年1月1日より、オートモーティブガラスソリューション事業およびエンバイロンメンタルテクノロジー事業を、新設したオートモーティブ部門に移管しました。比較情報は、コーニングの部門報告の変更に合わせて再計算しています。

オプティカルコミュニケーション部門:

	Q3 2025	Q2 2025	Q3 2024	前四半期比	前年同期比
純売上高	\$1,652	\$1,566	\$1,246	5%	33%
純利益	\$295	\$247	\$175	19%	69%

ディスプレイ

	Q3 2025	Q2 2025	Q3 2024	前四半期比	前年同期比
純売上高	\$939	\$898	\$1,015	5%	(7%)
純利益	\$250	\$243	\$285	3%	(12%)

スペシャリティマテリアルズ部門:

	Q3 2025	Q2 2025	Q3 2024	前四半期比	前年同期比
純売上高	\$621	\$545	\$548	14%	13%
純利益	\$113	\$81	\$72	40%	57%

オートモーティブ

	Q3 2025	Q2 2025	Q3 2024	前四半期比	前年同期比
純売上高	\$454	\$460	\$430	(1%)	6%
純利益	\$68	\$79	\$51	(14%)	33%

ライフサイエンス部門:

	Q3 2025	Q2 2025	Q3 2024	前四半期比	前年同期比
純売上高	\$242	\$250	\$244	(3%)	(1%)
純利益	\$16	\$18	\$15	(11%)	7%

ヘムロックおよび新規成長事業部門

	Q3 2025	Q2 2025	Q3 2024	前四半期比	前年同期比
純売上高	\$364	\$326	\$250	12%	46%
純利益（損失）	(\$1)	(\$10)	\$12	90%	*

*非適用

今後の説明会について

12月2日、コーニングはアリゾナ州スコッツデールで開催されるUBSグローバル・テクノロジー・カンファレンスに参加します。また、当社経営陣が一部都市の投資家オフィスを訪問予定です。最新情報については、当社ウェブサイトの「Investor Relations」ページをご覧ください。

第3四半期のカンファレンスコールについて

コーニングは10月28日(火)の東部夏時間午前8時30分より、第3四半期のカンファレンスコールを開催します。ご参加の場合、コール開始前にこちらから事前登録いただけます。必要事項をすべてご入力の上、「Register」をクリックしてください。電話番号およびPINコードが自動生成され、画面にポップアップ表示されます。「Dial In」またはシステムによる「Call Me」機能を選択できます。また、ダイヤルインに関する情報を記載した確認メールをお送りします。ライブオーディオウェブキャストをお聴きになるには、コーニングの「Investor Relations」イベントページをご覧ください、指示に従ってください。

本プレスリリースの情報の表示について

本ニュースリリースには、Non-GAAP 財務指標が含まれます。Non-GAAP 財務指標は、GAAP に準拠するものではなく、GAAP に代わるものでもありません。コーニングの Non-GAAP 財務指標は、一般的な経済状況や企業活動において基本となるファンダメンタルズやトレンドを反映していないイベントを原因とする事項の影響を排除しています。コーニングは、Non-GAAP 財務指標を開示することにより、当社の基本的な業績トレンドが見えづらくなる事項の影響を除いた上で、財務成績の分析を行うことが可能になると考えています。これらの Non-GAAP 財務指標の定義および、直接比較可能な GAAP 財務指標との調整については、当社ウェブサイトでご確認いただけます。「Investor Relations」ページにアクセスいただき、「Financials and Filings」タブ内の「Quarterly" Results」をクリックしてください。これらの調整は、本ニュースリリースにも適用されています。

将来見通しに関しては、当社経営陣が外国通貨の対米ドル為替レート動向やその他当社の経常的業務を反映しない事項、未発生事項、経営陣が抑制できない事項について予測することはできないため、これらの Non-GAAP 基準について調整結果を提示することはできません。そのため、経営陣は GAAP ベースの見通し情報についても提示することはできません。

将来の見通しに関する注意点

本リリースおよびマネージメントのコメントにおいて、過去の事実または情報ではない記述や、「will (～になる)」、「believe (～と考えている)」、「anticipate (～と予測する)」、「expect (～と予想している)」、「intend (～する意向である)」、「plan (～を計画している)」、「seek (～を試みる)」、「see (～と見込んでいる)」、「would (～だろう)」、「target (目標とする)」、「estimate (～と見込む)」、「forecast (～と予想する)」またはその他類似の表現を含む記述はすべて「将来の見通しに関する記述」です。こうした記述は、1995 年米国民事訴訟改革法の「セーフハーバー」規定に沿ったものであり、経済、競合、法制度の変化に関連する予測や想定が含まれます。また、程度の差はあれ、本質的には不確実である将来の事象に関する記述となります。これらの将来の見通しに関する記述は、とりわけ、当社「スプリングボード」計画（追加）、将来の業績、新規および既存市場における当社のシェア、当社の収益および利

益成長率、技術革新および新製品の商商品化に関する当社の能力、当社の予想される設備投資、および当社のコスト削減施策・価格設定改善策の実施（製造能力の最適化を含む）に関連しています。

当社は、これらの将来の見通しに関する記述について、とりわけ、現在の見通し・予測、一般的な経済状況、当社の事業に関する知識、および当社に影響を与える主要業績評価指標に関する合理的な仮定に基づいていると考えていますが、実際の結果は大きく異なる可能性があるため、これらの将来の見通しに関する記述が正確であることを証明する保証はありません。当社は、適用される証券取引法で義務付けられている場合を除き、状況または経営陣の見積もりや見解が変更された場合でも、将来見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

将来の見通しに関する記述で明示的ないし暗示的に表明した予想と、実際の結果との大きな乖離の原因となり得るリスク、不確実性その他要因には次のようなものがありますが、これらに限るものではありません。世界経済の動向、競争リスク、地政学的リスク、米国とその他の国との間の制裁、関税、その他の貿易摩擦の激化、当社事業のグローバルサプライチェーンおよび戦略に対する関連する影響、または、健康危機、インフレ、金利、有価証券およびその他の金融資産の価値、貴金属、石油、天然ガス、原材料、その他の商品価格に起因する動向および変動を含む、マクロ経済および市場状況の変化および市場のボラティリティ、為替レート(特に米ドルと日本円、韓国ウォン、中国元、新台湾ドル、メキシコペソおよびユーロ)、消費者需要の減少または急激な増加、ならびにそのような変化と変動が当社の財政状態と事業に与える影響。補助金、税控除その他、政府によるインセンティブの利用可能性またはそれらの改悪。エピソードやパンデミックなどの健康危機事象の期間および深刻度、ならびに需要、人員、事業、グローバルサプライチェーン、株価に対する当社の事業全体への影響。テロ活動、サイバー攻撃、武力紛争、政治的または金融的不安定性、自然災害、国際貿易紛争、または重大な健康上の懸念により、商業活動またはサプライチェーンが混乱する可能性。盗難、サイバー攻撃、または情報技術インフラの中断による知的財産の損失。特許を行使し、知的財産と企業秘密を保護する能力。コーニング、当社のサプライヤーおよびメーカーのサプライチェーン、設備、施設、IT システムまたは業務の混乱。製品需要および業界の供給能力。競争力のある製品と価格設定。重要なコンポーネント、材料、設備、天然資源、ユーティリティの可用性とコスト。新製品の開発と商品化。主要顧客からの注文活動と需要。計画レベルでの四半期配当の支払いまたは計画レベルでの株式の買い戻しの能力に影響を与える可能性のある、当社のキャッシュフローと利益の額と時期、および、その他の条件。将来の配当の額と時期。買収、処分、その他の類似取引の影響。規制及び法整備の影響。予想される顧客の需要レベルに合わせて設備投資を調整する能力。業務変更、価格設定、コスト削減策の実施を通じて利益率を向上させる能力。技術変化の速度。不利な訴訟。製品およびコンポーネントの性能問題。重要な人材の確保。収益性の高い事業を維持し、継続的な事業や製造の拡張に必要な資金を調達し、債権を期日までに支払う顧客の能力。重要顧客の損失。税、規制、国際課税基準の変更。税務当局による監査の影響。訴訟、政府規制、その他の政府措置や調査の潜在的な影響。その他、コーニングの SEC 提出書類に詳述されているリスク。

これらの諸リスクその他要因の一覧については、Form 10-K の年次報告書および Form 10-Q の四半期報告書に記載されたリスク要因と将来の見通しに関する記述を参照ください。

ウェブによる情報開示について

コーニングインコーポレイティッド（以下「コーニング」）は、重要情報の開示にあたり、企業ウェブサイトおよびソーシャルメディアチャンネルに関する米国証券取引委員会（SEC）のガイダンスに基づき、投資家、メディアおよびその他利害関係

者の皆様に対して、当社ウェブサイト(<https://www.corning.com/worldwide/en/about-us/news-events.html>)上で、投資家にとって重大とみなされ得る情報など当社に関する重要情報につき、本プレスリリースまたは他のプレスリリースの補足情報を公表します。当社が用いるウェブサイトおよびソーシャルメディアのリストは、当社メディアおよびウェブサイト上で随時更新される場合があります。投資家、メディアおよびその他利害関係者の皆様におかれましては、SEC への提出書類、プレスリリース、カンファレンスコール、ウェブキャストに加え、上記ウェブサイトおよびソーシャルメディアチャンネルを通じた発表情報をご確認いただきますようお願いいたします。

コーニングについて

コーニング(www.corning.com)は、材料科学における世界有数のリーディングイノベーターとして、創業以来170年にわたり、人々の暮らしを変える発明を重ねてきました。ガラス科学、セラミックス科学、光学物性に関する圧倒的な専門知識と、強力な製造・エンジニアリング能力を武器に、産業に変革をもたらし人々の暮らし向上につながるような、様々な定番製品を開発してきました。研究開発およびエンジニアリングへの継続的投資、革新的な材料およびプロセスの独自の組み合わせ、そして各業界で世界をリードするお客様との深い信頼に基づく協力関係により、大きな成果をあげてきました。コーニングの能力は幅広く応用可能で相乗的な効果を発揮します。こうした能力を武器に、絶え間ない市場ニーズの変化に応えるべく進化し、変動の激しい業界において、お客様の新たなビジネス機会の創出をサポートしています。当社は現在、オプティカルコミュニケーション、モバイルコンシューマーエレクトロニクス、ディスプレイ、オートモーティブ、太陽光、半導体、ライフサイエンスの各市場で事業を展開しています。

メディア問合せ 米国：

Gabrielle Bailey
(607) 684-4557
baileygr@corning.com

メディア問合せ 日本：

大川真由
03-5562-2260
okawam@corning.com

IR 問い合わせ：

Ann H.S. Nicholson
(607) 974-6716
nicholsoas@corning.com